

# いしづち

愛媛労災病院広報紙第18巻第4号

(通巻第90号)

2019年10月5日発行

発行人: 院長 宮内文久

## 理念

当院は働く人々のために、そして  
地域の人々のために信頼される  
医療を目指します

## 基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に  
推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、  
以下のように宣言します。

### 【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の  
決定やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

### 【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務



2018年10月17日 愛媛労災病院正面玄関前にて撮影

知っておきたい! こどもの便秘 ..... 2  
全自動輸血検査システム導入へ ..... 3

北6階病棟紹介 ..... 3  
高校生ふれあい医療・看護体験 ..... 4

# 知っておきたい！こどもの便秘

小児科副部長 山岡理恵

## 便秘とは？

便秘とは、便回数が少ないか、出にくいことをいいます。目安は週3回未満ですが、毎日排便があっても、排便時に痛みがあったり、すっきりした排便がない場合は、便秘の可能性があります。また、便の形も重要で、“バナナ状”が理想的な便の形と考えられています(図1)。







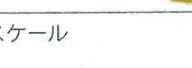
スケール	一般的表現		形状
1	コロコロ便	硬くコロコロの便(ウサギの糞のような便)	
2	硬い便	短く固まった硬い便	
3	やや硬い便	水分が少なく、ひび割れている便	
4	普通便	適度な軟らかさの便	
5	やや軟らかい便	水分が多く、非常に軟らかい便	
6	泥状便	形のない泥のような便	
7	水様便	水のような便	

図1 便形状スケール

子供が便秘になりやすいのは、乳児期、幼児期、学童期の3つです。母乳から人工乳への移行時や離乳食開始時(乳児期)、不適切なトイレトレーニング(2~4歳)、集団生活の開始、学校で排便を避ける(学童期)等が便秘の原因になります。

## 便秘の悪循環

排便の時に便が硬くて痛い思いをすると、子供は排便が怖くなり、我慢するようになります。すると便は腸に溜まってさらに硬くなり、排便時の痛みも増えてしまうので、ますます便を我慢するようになり、悪循環となります。また、いつも便が腸(直腸)にある状態が続くと、腸がだんだん鈍感になり、便意を感じにくくなる結果、さ

らに腸に便がたまってしまうという悪循環もできあがってしまいます。(図2)

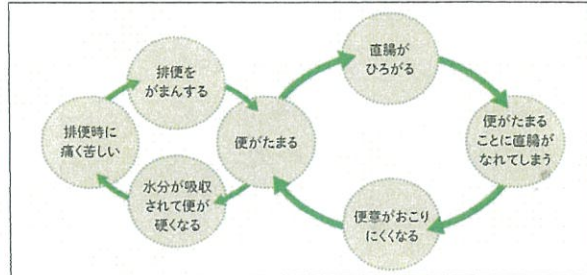


図2 便秘の悪循環

## 便秘の治療

便秘の治療では、まず食事や生活習慣を見直すことが大切です。

- ① 朝に排便できるよう、朝食後に時間の余裕を持ちましょう。大腸の運動は、朝食後が一番活発です。
- ② バランスよく、たくさん食べましょう。水溶性の食物繊維は便の素になるので、雑穀・野菜・海藻・果物・芋類・豆類から好きな物を見つけましょう。
- ③ 軽い運動でよいので、日頃からなるべく体を動かしましょう。運動は腸の動きを活発にして便通をよくします。
- ④ 子供が便意を感じていたら、すぐにトイレに行かせましょう。排便を我慢することが多いと、便秘は悪化します。

## 便秘の治療薬

上記を見直しても便秘がよくなる場合は、薬による治療も行います。子供には、便をやわらかくする薬(浸透圧下剤)がよく使われます。便を柔らかくすることで排便時の痛みも軽減できます。それでも症状が改善しない場合は、刺激性下剤(大腸を直接刺激して、便を肛門の方へ移動させる動きを引き起こす薬)を用います。子供の便秘は、一時的に改善したようにみえても再発することが多いので、しっかり治療を続けることが大切です。お子さんの便秘が気になる方は、小児科外来へご相談ください。

## 全自動輸血検査システム導入へ

主任臨床検査技師 伊藤 英 司

通常の輸血療法検査には、血液型検査、不規則抗体スクリーニング検査、交差適合試験検査などがあります。

当院では24時間365日検査業務を行う体制が運用されており、臨床検査技師13名が交代で検査業務を担当しています。今までの検査法では、試験管を使った手作業の検査でしたが2019年3月より全自動輸血検査機器「オーソ社VISION（ビジョン）」を導入することが出来ました。

全自動化することにより、検査処理能力や結果報告のスピード化などを含め安定的な検査精度の向上をはかり、輸血管理システムの運用と併せて人的ミスの防止にも役立っています。

今までの手作業の方法では、結果報告に最短でも約30～40分程度かかる上に各技師のスキル差もあり、そして夜間などはダブルチェックもままならぬ状況でストレスと格闘して結果報告を行っていましたが、全自動化カラム凝集法に代わり、結果の考察にもスキル差がなくなり、

検査結果の異常反応にもいち早く次への対応が可能となりました。自動化で大幅な検査時間の短縮となり、全検査約20分程度で報告できることも可能となりました。（血液型検査だけなら約8分で報告可能です。）

今後も安全で安心な輸血医療を提供できるよう、輸血検査業務に従事していきたいと思えます。



## 北6階病棟紹介

看護師長補佐 神野 結花

北6階病棟は、外科・脳外科・泌尿器科・皮膚科の病床数41床の混合病棟です。多種多様な手術（腹腔鏡手術、内視鏡手術、膀胱手術等）や治療（化学療法、血栓溶解療法等）に対応し、リハビリや社会復帰、在宅への退院支援等を多職種と協働で行っています。当病棟は平均在院日数12.2日、入院患者の45%が緊急入院です。

毎日瞬発力を活かしながら、患者さんが安全に、安心して入院生活を過ごして頂けるよう、医療チーム一丸となり援助しています。

今年度は認知症看護認定看護師が1名誕生し、当病棟に配属されました。認知症看護の質の向上にも努めていきたいと考えています。また、4月から新人看護師1名を迎え、新人から超ベテランまで総勢25名の看護師がおり、笑顔あり・元気あり・技術ありと、とてもバランス

が良いことが自慢です。

これからも患者さんに最大限の温かい看護を提供できるよう頑張ります。



## 高校生ふれあい医療・看護体験

看護師長 日野 美 保



医師・医療職部門



看護師部門

7月19日に高校生を対象とした、ふれあい医療・看護体験を実施しました。

新居浜市、西条市より47名の応募があり、それぞれが希望する医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、診療放射線技師、理学療法士、言語聴覚士の職業体験をしました。

医療職への明確な進路希望があり参加している学生、病院を知りたい又は医療職を体験してみたい学生など、参加動機は様々でしたが、病院スタッフと共に患者さ

んとコミュニケーションをとったり、疑似体験をしたり、医療機器に触れるなど貴重な体験ができました。

体験後のディスカッションでは、「希望する職業への思いが一層、強くなった。」「自分の将来の参考になった。」「チーム医療の重要性を実感できた。」などの意見が聞かれ、未来の医療を担う高校生の、希望と熱気があふれる一日となりました。

### <体験の様子>



医師



診療放射線技師



看護師



臨床検査技師

！ 広報誌編集メンバー 委員長：福井副院長 委員：山田第2内科部長、今田看護副部長、荒井看護師長、山根看護師長補佐、横井看護師長補佐、加地看護師、大成薬剤師、西原作業療法士、正岡診療放射線技師、井上臨床検査技師、原田総務課長、岸本総務課員、中山診療情報管理士、玉井総務課員 ！